

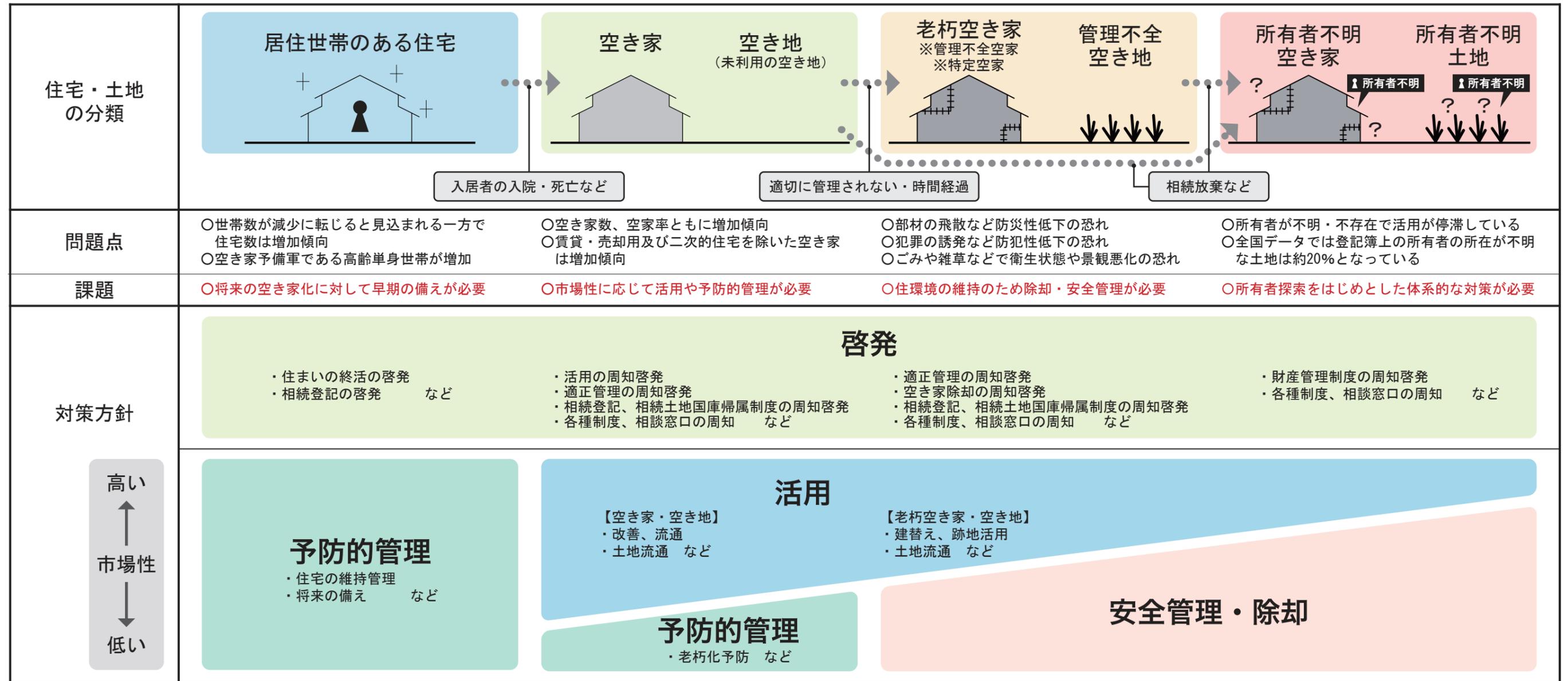
空家等対策に関する基本的な方針 (1) 対策方針について (案)

対策方針に関する見直しのテーマ 空き家等の市場性に応じて、管理・活用・除却等の施策を効率的に実施する

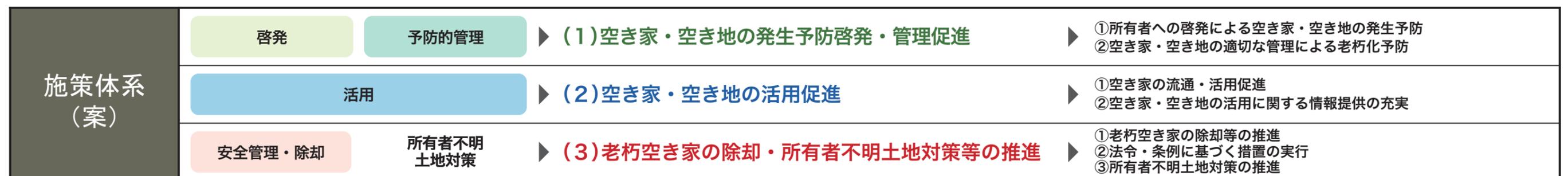
- ・空き家等が今後も増加する見込みであるなか、限られた予算の中では限界があるため、より効率的で効果的な対策の実施が必要。
- ・そのため、空き家等の老朽度や立地などの状況を踏まえた「市場性」を考慮し、「市場性あり」は市場流通に向けた支援や活用、予防的管理の助言等を行い、「市場流通困難」は安全管理等の助言や解体等の支援を行う。

■空き家・空き地の状態、市場性に応じた対策方針

空き家・空き地の状態、市場性に応じた基本的な方針を整理している。実際の空き家・空き地では個別の条件に応じた対応を行う。



■対策方針をふまえた施策体系(案)



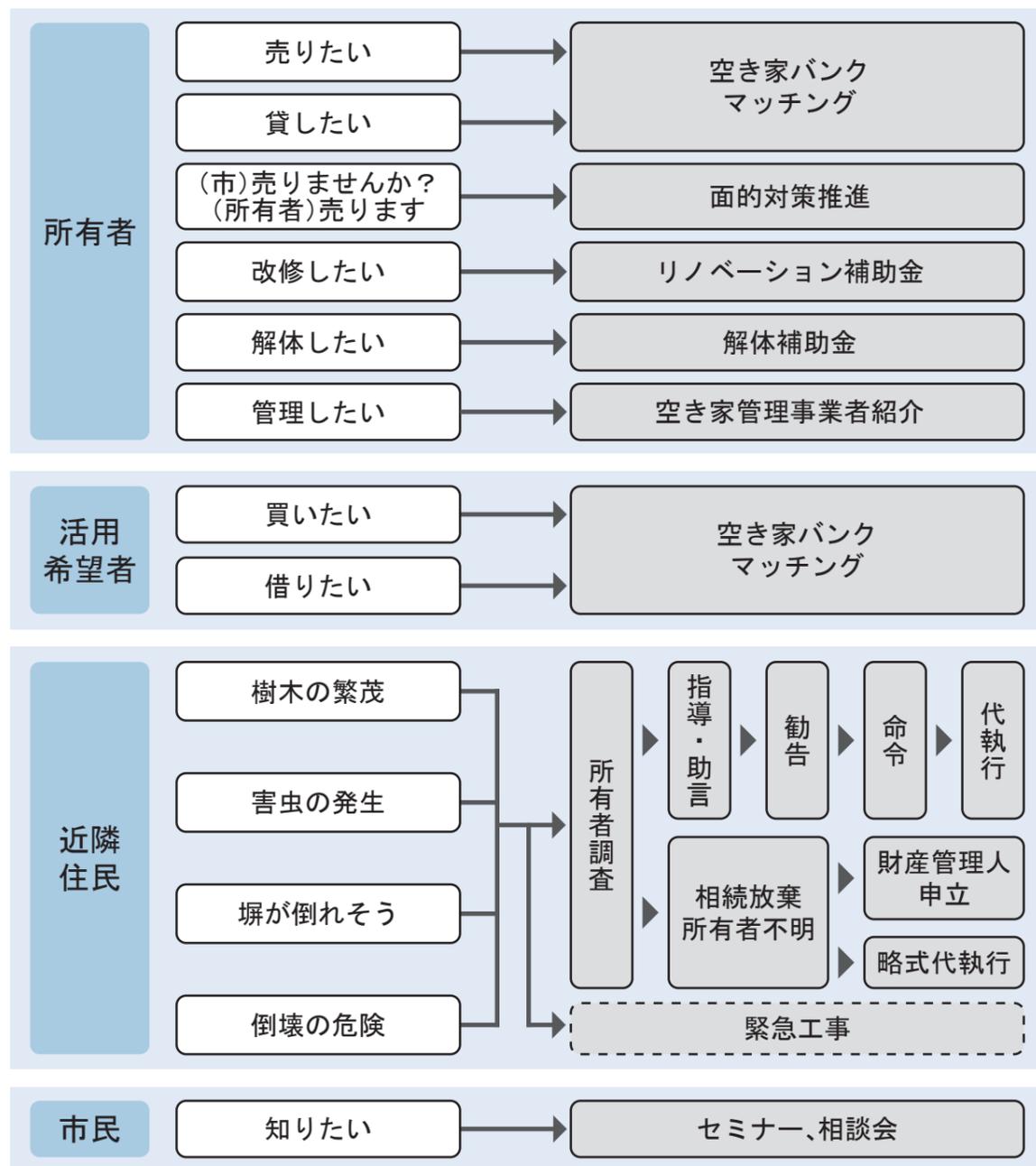
空家等対策に関する基本的な方針 (2) 推進体制について (案)

推進体制に関する見直しのテーマ 官民連携で「個別対応」から「総合的な対応」による相談・問題解決に取り組む

- ・空き家等の増加や、専門的な知識が求められる相談などにより、各区役所と本庁の相談窓口のみでは対応が難しくなっている。
- ・そのため、これまでの「個別対応」による問題解決でなく、専門的ノウハウを持つ民間事業者と官民連携の相談体制を構築し、問題解決に取り組む「伴走支援」の仕組みづくりを行う。

■これまでの空家等対策の推進体制 …「個別対応」

- 現状 ●各区役所の相談窓口(近隣住民向け)と本庁総合相談窓口(所有者等向け)により対応
●個別の相談内容に応じて、個別の解決策を提示している状況(個別対応)
- 課題 ●相談件数・内容に対して、行政窓口のマンパワーや専門性では対応が難しい
●多様な空き家の事例に対し、解決策が画一的な運用となっている
●相続放棄、所有者不明空き家など複雑な課題を抱える空き家が増加している



■これからの空家等対策の推進体制 …「総合的な対応」

- 空き家等の問題解決に取り組む事業者を「空家等管理活用支援法人」に指定し、官民連携で相談対応や啓発を総合的に実施する体制を整備する。
- 空き家の状況(老朽度・立地等)や所有者・活用希望者の意向等を整理した「空き家カルテ等」を官民で共有し、解決方法を検討・提案する。
- 空き家の問題解決を目的とした官民連携による新たな空き家対策の事業化を支援する。

